

きのくに自主防災

第30号 (令和4年12月号)

<発行元>

和歌山県自主防災組織情報連絡会事務局 (和歌山県庁防災企画課内)

令和4年度和歌山県自主防災組織情報連絡会 情報交流会を開催しました！

7月9日(土)に海南市の海南nobinosにて開催し、3市町の自主防災組織の会長による事例発表と、パネルディスカッションを行いました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、開催は3年ぶりとなりましたが、大勢の方にご参加いただきました。

事例発表者

海南市	塩津区防災会	会長	谷所 渉 (たんじょ わたる) 氏
有田川町	中野地区自主防災組織	会長	和泉 保廣 (いずみ やすひろ) 氏
和歌山市	松江地区防災会	会長	川口 敏夫 (かわぐち としお) 氏

コーディネーター

国立明石工業高等専門学校 建築科 講師 本塚 智貴 (もとづか ともき) 氏

海南市塩津区防災会

○塩津区について

三方を山に囲まれ北を海に面している地形で、急な斜面に住宅が密集し、通路は細い坂道や階段が多い地区です。

「自分たちでできることは全てやる」を活動理念とし、平時にも災害時にも強い地域を目指して活動しています。

○取組について

令和元年には海南市防災訓練の重点地域として被災者役で参加。発災5日後を想定した訓練では、地区住民の災害関連死を防ぐため、避難所や在宅避難者の避難生活における地域の支援体制を確認。地域住民と地域の小・中学校生、福祉系専門職団体、大学生、一般ボランティアと連携して実施しました。

訓練後は振り返りを行うことで、今後の活動につなげています。

○今後のビジョン

少子高齢化や人口減少により防災の担い手不足が見込まれます。平時の課題がより顕著になるため、「平時の取組」と「災害時の取組」を連携させることが大切です。みんなの力で地域を創り、みんなが地域を守ることが必要です。



塩津区防災会発表の様子

有田川町中野地区自主防災組織

○中野地区について

旧金屋町の中心地で67世帯、177名が暮らして、他の地区と比べて、災害のリスクが低い地域であり、これまで大きな災害に見舞われたことがない地区です。

自主防災組織は平成30年4月1日に設立し、今年で組織結成5年目を迎えます。

○取組について

結成した平成30年度は避難訓練と炊き出し訓練を行ったところ、子どもから高齢者まで98名の参加となりました。区民が一斉に食事する機会が今までなかったのもとても好評でした。

令和元年度は避難訓練と炊き出し訓練に加え、消火訓練を行いました。ヘルメットや担架を実際に使用し、元消防団員の指導の下、女性による消火栓開栓訓練等を行いました。

令和2年度は新型コロナウイルスの流行に伴い住民が集まる訓練はできませんでしたが、災害時井戸水提供者調査を行いました。

○実際の災害時には

平成30年9月4日～5日の台風21号の際は、避難行動要支援者対策の一環として、自主防災組織の役員が一人暮らしで交通手段を持たない方を訪問し、朝食を配給しました。



中野地区自主防災組織発表の様子

和歌山市松江地区防災会

○松江地区について

和歌山市の北西部に位置し、地区の南西には日本製鉄（旧住友金属工業）の工場が広がっています。道は細く、古くからの家屋が密集しているため、強い揺れによる家屋やブロック塀の倒壊があれば、緊急車両などが通行できなくなることが考えられます。

○取組について

令和元年の大規模な防災訓練では、東海・東南海・南海3連動地震が発生し、和歌山市では震度6弱を観測。市内各地で津波による浸水・家屋の倒壊、火災が発生したという想定で、松江地区防災会、松江地区連合自治会のほか、地元幼稚園、小学校、中学校の協力を得て実施しました。

○実際の断水時には

令和2年に和歌山市が松江小学校にマンホールトイレ10個を設置。令和3年に和歌山市の水管橋が崩落したことによる、大規模な断水の際に実際に使用しました。今までの訓練の成果を実感することができました。



松江地区防災会発表の様子

パネルディスカッション

地域の自主防災活動の経験を踏まえて討論を行いました。ここでは、一部を紹介します。

Q 塩津区防災会では、地区だけでなく地区外の人にも参加してもらい大規模な訓練を行っています。全国から支援者を集めて訓練を行う上で、いろんな団体と調整をする大変だったことあれば教えてください。

A 訓練メニューごとにタイムスケジュールを作成し、そのタイムスケジュールの通りに動いたため、特に困ったことはなかった。ほかの団体との事前の調整に関しては、海南市や社会福祉協議会の職員さんが対応してくれたので、防災会として連絡調整で苦労した点はなかった。

Q 中野地区自主防災組織では、訓練の参加率が非常に高いですが、何か特別な声掛けを行ったのですか？
それとも地域で集まる機会が少ないので、やってみたら集まったというような状況ですか？

A 今まで地区で集まって何かする機会がなかったので、おそらくみんな興味本位で来てくれたのだろう。これまでは安全な地域だったかもしれないが、いつか災害に遭うこともあり得る。そうなった時、地域の住民での助け合いが必要になってくるので、日ごろからのコミュニケーションがとても大切だと考えている。

Q 松江地区防災会では、和歌山市の水管橋が落ちたことにより断水が起き、水が使えなくなった状況下で、どのような経験をされたのかを教えてください。

A 昨年、単位自治会で井戸を掘りポンプを設置した。その際に電気を使用できる状況で断水になる可能性もあるという声があったので、手押しポンプと電動ポンプの機能を兼ね備えたポンプを設置した。それがあって手押しポンプの井戸に比べて簡単に水を得ることができた。

本塚先生（コーディネーター）からの講評

【塩津区防災会】

地域活動から防災を切り取って考えるのではなく、地域づくりの一環として取り組んでいるのが良い。また自分たちの長所を生かした地域づくりを行うことは重要です。

【中野地区自主防災組織】

訓練を「楽しみながら取り組む」ことが、地域の参加率が高い要因だと思います。これからもそういった訓練を行うことで地域づくりに繋がると思います。

【松江地区防災会】

自主防災組織の活動の前進として「お帰りパトロール隊」がある。これも地域の長所や特色を生かしている事例です。

【全体総括】

「自分たちでできることはやるという意識の強さ」と「地域づくり」の大切さがよく分かる内容でした。



パネルディスカッションの様子

和歌山市 松江地区防災会が 防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞！

松江地区防災会（会長 川口 敏夫）は、平成12年の発足以来、地区の防災力及び地区住民の防災知識の向上を図るため、毎年大規模な防災訓練を実施するなど地道な活動を継続し、安心・安全に暮らせるまちづくりに向けて、継続的に取り組んでこられました。

このような取組が評価され、令和4年防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞し、9月13日に総理大臣官邸にて表彰式が行われました。

※防災功労者内閣総理大臣表彰は、『「防災の日」及び「防災週間」について』（昭和57年5月11日閣議了解）に基づき、災害時における人命救助や被害の拡大防止等の防災活動の実施、平時における防災思想の普及又は防災体制の整備の面で貢献し、特にその功績が顕著であると認められる団体又は個人を対象として表彰するものです。



和歌山市長への受賞報告 松江地区防災会のみなさま
(市長左 川口会長)

毎年11月には「松江はひとつ」をスローガンに、「松江地区防災計画」に基づき幼稚園児、小中学生、地区の住民、さらには地区の事業所の方々を含め、約1,000人の参加者による訓練を行っています。特に、要配慮者には十分な配慮をして、災害時に役立つよう避難状況を想定し、健常者とともに迅速に避難する訓練を行っています。また、訓練において防災会で備えている資機材の展示や取扱の確認・点検、参加者に対する指導など技術の向上にも努めています。

今年の11月には松江緑地多目的運動広場にて地域住民、小学校、幼稚園、少年野球クラブ等、約1,000人が参加した訓練が開催されました。

海南市 自治会自主防災会・臨海企業連絡会が 和歌山県知事表彰及び 防災功労者防災担当大臣表彰を受賞！

自治会自主防災会・臨海企業連絡会（会長 吉川 裕彰）は、東日本大震災を教訓に、3つの自治会自主防災会（藤白南、船津浜、宮の浜）とENEOS和歌山石油精製株式会社が防災力強化を目的として設立。協働して必要な資機材の整備や物資の備蓄を行うとともに、地域住民参加の避難訓練活動などに取り組んでいます。また、令和3年度は、地域住民と企業が連携した地域防災活動が継続できるよう、10年先を見据えた「地区防災計画」を海南市で初めて策定し、市民が安心して暮らせるまちづくりに多大な貢献をしました。

このような取組が評価され、令和4年和歌山県知事表彰を受賞し、5月27日にホテル「アバローム紀の国」にて表彰式が行われました。

また、令和4年防災功労者防災担当大臣表彰も受賞され、9月15日に内閣府にて表彰式が行われました。

※防災功労者防災担当大臣表彰は、災害時の防災活動の実施、防災思想の普及又は防災体制の整備の面で貢献し、特にその功績が顕著であると認められる団体又は個人を対象として表彰するものです。



右：吉川会長
左：谷内閣府特命担当大臣（防災）



令和4年和歌山県知事表彰受賞者(後列左から3人目 吉川会長)

防災ツールのご紹介



いいものがあるよ!

地区で防災訓練をやっているけど、
毎年同じ内容だなあ...
何か新しいことできないかな?



あいうえお地区自主防災組織
会長 上尾 愛

家族で避難先について話し合っていますか？

年に1回家族で避難先について話し合い

「避難カード」を書こう!

家族を信じ、全員がそれぞれに避難する意識を持ち、率先して避難をしましょう。

詳しくは、下記URLをチェック☆

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/011400/hinancard.html>

スマホを使った新しい避難訓練してみませんか？

「和歌山県防災ナビアプリ」には、近くの避難先を簡単に検索できる機能などのほか、避難トレーニング機能が搭載されており、実際に行った避難トレーニングの記録に南海トラフ巨大地震の津波想定を重ねることで避難行動の安全性を確認できます。

詳しくは、下記URLをチェック☆

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/011400/bousai/d00155183.html>



大人気

きいちゃんの災害避難ゲーム

きいちゃんの災害避難ゲームは、津波による犠牲者ゼロのため、災害時の迅速な避難行動や日頃からの備えの重要性、円滑な避難所運営のために必要となる協力体制等について、楽しみながら実践的に学べる県オリジナルの防災学習ツールです。ぜひ、ご活用ください！



詳しくは下記URLをチェック☆

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/011400/kiichangame.html>

出張！減災教室のご案内

県では、地域の自主防災組織や県内の小・中・高等学校などを対象に体験型の「出張！減災教室」を開催していますので、ぜひご活用ください。

※講師の派遣や、資料配布等の費用は県が負担します。ただし、会場の手配やそれに係る費用については、申込者の負担になりますので、ご了承ください。

詳しくは下記URLをチェック☆

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/011600/soumu/gensaikyousitu.html>



県民の友9月号表紙
出張！減災教室できいちゃんの災害避難ゲームをする子どもたちの様子

「きのくに自主防災」に掲載する防災活動事例を募集しています

きのくに自主防災では、地域で防災活動に取り組まれている方々の活動事例を募集しています。自主防災組織の訓練、普段の活動の取組や、学校と連携した防災活動など特色ある活動事例をご紹介いただける場合は、ご連絡をお願いします。

※紙面の都合によりご紹介いただいたものすべてを掲載できない場合もございますので、予めご了承ください。

【お問い合わせ先】

防災企画課 TEL：073-441-2271 FAX：073-422-7652